

先進的事例（就職支援）：国内企業の留学生OB・OG訪問ができる環境の構築

実施機関名：ひろしま国際センター

留学生の就職活動においては、企業に就職している留学生OB・OGとの連携が有効であるため、当センターや大学等が保有する情報や企業とのネットワークを活用し、留学生がOB・OGを訪問できる環境の構築を図る。

1 取組の背景

留学生は日本式の就職活動の知識・経験が不足しており、日本での就職を多く希望するものの、就職活動の取組が遅れがちになり、日本や広島県内での就職に結び付かないケースが多い。一方、留学生と留学生OB・OGのネットワークは強固なものがあり、それを通じ入学や就職に至るケースも少なからずある。

このため、現役留学生の就職活動を支援する一つの手法として、留学生OB・OGネットワークを活用することとし、当センターが進路状況調査や個別就職コンサルティングや企業セミナー等で蓄積された情報を利用して、現役留学生とOB・OGとが交流できる仕組みを構築する。

2 これまでの取組状況

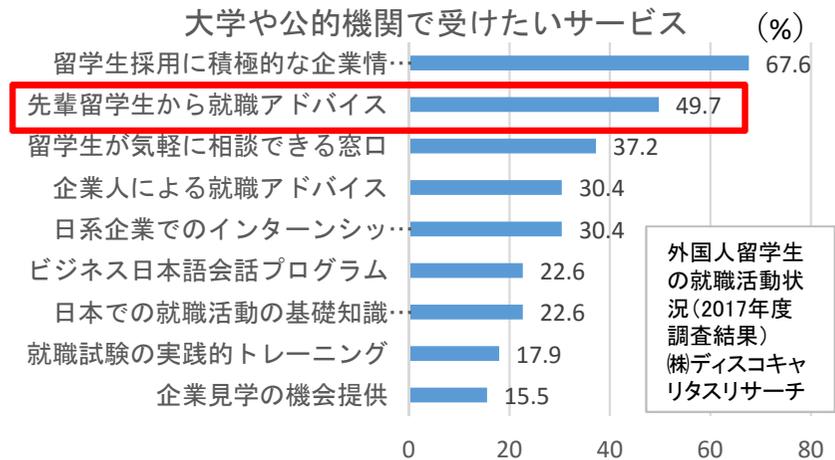
- ① 毎年5月に各大学等に実施している「外国人留学生進路状況調査」結果により、県内企業に就職した留学生の就職先を把握し、データベース化
→ 今後、各大学等に提供し、情報共有する予定
- ② 個別就職コンサルティングで就職先を把握し、データベース化
- ③ 企業セミナーや企業交流会開催時に企業の留学生OB・OGを把握し、データベース化

3 効果

・ 企業交流会においては、留学生OB・OGから日本での就職活動方法や雇用システムなどについて生の声を聞くことができ、不安の解消や日本就職への意欲が図られた。また、留学生に知名度が低い製造業や中小企業の魅力を伝えることができた。

4 課題

・ 留学生のOB・OGのデータベース化は整備途中で、今年度中を目途にOB・OGリストを作成し各大学等へ提供する予定。



(企業交流会)

